

週刊大貫のり夫

市政ファイルNo.422



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2014年2月12日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

日本共産党横浜市議団が予算要望懇談会を開催

国土強靱化よりも市民要望の実現を

日本共産党横浜市議団は7日、予算議会に向けての市政懇談会を開きました。会場いっぱいの約70人の市民が参加しました。

最初に、私・大貫がパワーポイントを用いて、横浜市2014年度予算案の特徴について説明。林市政は、

安倍政権の国土強靱化に沿った高速道路や巨大港湾整備の推進や、安倍「教育再生」に従った英語教育やグローバル人材育成などを重点的に進めようとしていると述べました。

会場からは、津波対策や防災訓練、狭あい道路や急斜面地などの防災面

について、消費税増税の市民生活への影響、地球温暖化対策、介護保険、放射能対策、特別養護老人ホームなど、多岐にわたる質問や意見がだされました。

(2面に続く)



Twitter facebook ご覧ください

市民要望実現のために力を尽くします

(1面より) 年金者組合の方からは、昨年12月議会に年金者組合が出して不採択になった高齢者に対する肺炎球菌ワクチン接種への助成が新年度予算に含まれているようだがどういうことかと質問がありました。古谷やすひこ議員は、詳細は不明だが法律の改正により助成されるようになったが、これも市民の方々の運動の成果だと答えました。

また、橋梁の耐震化は進んでいるようだがトンネルはどうかという質問について、岩崎ひろし議員がトンネルなどの道路関連の耐震調査を行っており今年度中には調

査結果が出ると答えました。

太陽光パネルへの助成がなくなったようだがどうかという質問に対して、私・大貫は現在、地球温暖化対策実行計画改定素案に対する意見募集が行われているが、太陽光発電に対する目標値(2020年)が50%から5%に減少していることから、地球温暖化対策に対する市の姿勢が後退していると指摘しました。

最後に、岩崎議員が3月25日までの予定で開催中の議会で、市民要望の実現のために力を尽くすと述べました。



なんかおかしい? 横浜の教育

教育シンポジウム

—安倍「教育再生」と横浜の教育を考える—

「教育再生」の名のもとで、教育の右傾化と権力介入を一気に進めようとしている安倍政権。自民党言いなりの林市政・・・日本と横浜の教育を考えるシンポジウムを企画中です。ぜひ、ご参加ください。

3月16日(日) 13:30~16:00

神奈川近代文学館ホール

主催：日本共産党横浜市会議員団

後援：日本共産党横浜市委員会

シリーズ『あおば子育て事情』(147)

白菜なべ

江口 寛

また、恩師がなくなりました。元和光大学教授・山崎昌甫先生。

恩師といっても、講義を受けたわけではなく、奥様が初任校の先輩だった縁で、何回かお訪ねしてお話をうかがったり、若手教師の集まりで講演をお願いしただけでした。

それでも、先生の生き方と人柄には魅かれるものがありました。

先生は特攻艇「震洋」の訓練生で終戦を迎え、「人を殺す教育」を受けさせられた反省から、民主的學生運動に進み、梅根悟学長とともに和光大学の基礎を創るかたわら、民主的な教師を育てる民間教育運動にも尽くされた、骨太の人でした。

私がお慕いする人柄は、奥様が語

られた「白菜なべの思い出」に込められています。



70年代初

頭、先生は暴力学生の攻撃の的となり、研究室に出入りできなくなり、ゼミを自宅（といっても、3LKの団地の一室）で開くようになります。終わると先生は「君たち、お腹がすいただろう」と、鶏肉と白菜だけのなべとご飯をふるまったそうです。学生たちは、身も心も温まり、バイトに活動に出かけて行ったそうです。

形式ばったことの嫌いだった先生の遺志を尊重して、ごくごく身内の方だけで、無宗教・音楽葬で送られたとのこと。（合掌）

震洋：小型のベニヤ板製モーターボートの船内艇首部に炸薬を搭載し、上陸船団に体当たり攻撃をした。

意見交換会でのお弁当



7日の市長との意見交換会で市長らと一緒に食べたお弁当は1200円。もちろん自費。

左上の器には大根と鶏肉などの煮物、右はさつまいものなどの揚げ物、下の段は、ナス、卵焼き、ミニロールキャベツなどにかやくご飯。それに、茶碗蒸しとお吸い物。

新中期計画は発想の転換を

昼食をとりながらの市長と意見交換会

日本共産党横浜市議団は7日、林市長や3副市長らと、昼食をとりながらの新年度予算に関わる意見交換会を行いました。例年、予算審議を前にして、市長が議会各会派と行っているものです。昼食代は自費負担です。

冒頭のあいさつで林市長は予算の特徴を説明し、

「本日は忌憚のないご意見を時間の許す限りお聞かせ願いたい」と述べました。

私・大貫は、団長としてあいさつ。予算審議は議場で充分討議したいとした上で、2014年度に策定される新たな中期計画について、都心の高速道路を取り払って川を再生したソウルの例をあげ、人口減少という時



代り、立ってあいさつする私・大貫と日本共産党横浜市議団(向こう側)、手前側が林市長や副市長＝2014年2月7日、横浜市役所内応接室。

代の趨勢に合わせたまちづくりが必要と指摘しました。また、横浜の経済政策については、これまでのような国の成長経済政策を取り入れた大型開発などよりも、経済波及効果が高く雇用を生み出す教育・福祉・医療など人と暮らしに根ざした政策にと、発想の転換を求めました。



ミジソコの独り言 冬期ソチ五輪が始まった。人工降雪機で雪不足を補ったようだが、このまま地球温暖化が進むと、いままでの19の冬季五輪開催地のうち2080年代も雪上競技を安心して開けるのは札幌など6都市のみとか。関東では先週の土曜日は記録的な大雪だったが、この異常気象も温暖化の影響か?(M)